

第1学年C組 国語科学習指導案

埼玉大学教育学部附属中学校

大塚 悠希

1 単元名・教材名 「戸部君」がいることによる作品の魅力を考えよう

「星の花が降るころに」 安東 みきえ

2 生徒の実態と本単元の意図

1学期で学習した「シンシユン」で、C(1)イの「場面の展開や登場人物の相互関係や、心情の変化などについて、描写を基に捉えること」の学習を行った。「シンシユン」では、特に場面の展開に注目して、読みを深める活動に取り組み、登場人物の心情について考えることができた。また、行動描写に注目して読むことで、登場人物の心情を捉え、読みを深める学習をすることもできた。さらに、情景描写に注目することで、新たな発見をし、「雨」の描写がある理由について考えを深めた。

「星の花が降るころに」は、主人公の「私」が友人関係に悩み、「銀木犀」や友人の「戸部君」との関わりを通して、自分を振り返り、成長していく姿を描いた作品である。比喻や行動描写が効果的に使われており、生徒の読む力を育むのに適した教材である。また、「戸部君」という人物も登場する。幼さも残す、「戸部君」だが、主人公のことを気づかい、接する彼の行動から主人公が変化していく。「戸部君」の描写に注目して、読み深めることで、主人公の成長、さらには、本作品における登場人物の設定について考え、読む力を育てていきたい。

本単元では「戸部君」に注目し、授業を展開していく。主人公の成長を描写していく上で、「戸部君」の存在は欠かすことができない。この二人をともに描くことで、主人公の葛藤や成長をより深く読むことができる。そこで、「戸部君がいることで作品にどのような効果があるのか」という問いを設定し、その理由や意見を伝え合う活動を行っていく。作品が進むにつれ、「戸部君」の描かれ方が変化し、そこから主人公の変容を読み取り、生徒の「読む力」を育成していきたいと考え、本単元を設定した。

3 単元の目標

(1) 表現の技法の意味や用法を理解し、作品における効果について考えることができる。

〈知識及び技能〉(1)オ

(2) 描写の細部に着目しながら登場人物の描かれ方の効果を捉え、描写を基に自分の考えを説明することができる。

〈思考力、判断力、表現力等〉C(1)イ

(3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。

〈学びに向かう力、人間性等〉

4 本単元における言語活動

登場人物の設定について、根拠を基に伝え合う活動。(関連：言語活動例C(2)イ)

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 表現の技法の意味や用法を理解し、作品における効果について考えている。 (1)オ)	① 「読むこと」において、描写の細部に着目しながら登場人物の描かれ方の効果を捉え、描写を基に自分の考えを説明している。 (C(1)エ)	① 粘り強く登場人物の描かれ方の効果を考え、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。

6 指導と評価の計画（全4時間）

	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
1	○ 学習のねらいや進め方をつかみ、学習の見通しをもつ。 学習のねらい 描写に注目しながら、登場人物が作品に与える効果を考えよう。	○ 表現の効果 ○ 表現技法	【知識・技能①】 観察・ワークシート ・ここでは、これまで学習した表現技法を想起させ、作品についてどのように使われているかを記入しているか確認する。
	○ 本文を通読する。 ○ 初発の感想を書く。	○ 登場人物の相互関係や心情の変化	○ 通読時に、既習事項である表現技法を想起させる。
	予想される生徒の記入例 ・「戸部君」が「私」のことを気にして、声をかけていたから、「私」は次に進むことができたのだと思う。 ・「銀木犀」がこの作品ではすごく大切なものになっている。 ・「私」はこれから「戸部君」のことを好きになっていくと思う。 ・この先、夏美と離れていったとしても、「私」は生活することができていくと思う。 ・比喩が効果的に使われており、登場人物や周囲の様子がよくわかるように書かれている。 ・行動描写が多く、そこから登場人物の様子がわかる。		

2 ・ 3	○ 初発の感想を読み合う。 ○ 「戸部君」が描かれている描写に注目し、人柄について考える。	○ 本文の描写を根拠にした読み方	【思・判・表①】 <u>観察・ノート</u> ・ここでは、描写に注目して、登場人物の関係や心情の変化について、自分の考えを記入することができているか確認する。
	着目させたい描写 ・「やめろよ。押すなよなあ。俺がわざとぶつかったみたいだろ。」 ・なんで戸部君はいつも私にからんでくるのか。 ・教室の中の戸部君がこちらを見ていることに気付いた。 ・繊細さのかけらもない戸部君 ・みんなとは離れた所で、一人ボールを磨いていた。 ・使いたいときだけ使って、手入れをしないでいるのはだめなんだ。 ・「いいか、よく聞けよ……おまえは俺を意外とハンサムだと思ったことがー」にやりと笑った。「—あたかもしれない。」		
	○ 「私」の「戸部君」への変化を読み取る。	○ 描写との結びつけ方	
	着目させたい描写 ・私は戸部君をにらんだ。 ・わけがわからない。 ・なんで戸部君はいつも私にからんでくるのか。 ・なんでサッカー部なのに先輩のように格好よくないのか。 ・私は押しのけるようにして立ち上がると廊下に向かった。 ・繊細さのかけらもない戸部君だから、みんなの前で何を言い出すか知れたものじゃない。どこまでわかっているのか探っておきたかった。 ・何を言われるのか少し怖くて黙っていた。 ・やっぱり戸部君って、わけがわからない。 ・中学生になってちゃんと向き合ったことがなかったから気付かなかったけれど、私より低かったはずの戸部君の背はいつのまにか私よりずっと高くなっている。 予想される生徒の記入例 ・最初は幼くて、わけがわからないと思っていた「戸部君」だが、自分のことを気づかい、接してくれている。むしろまだ幼かったのは、「私」自身であり、その成長の驚きが、二回目の「わけがわからない」に込められていると思う。また、「私より低かったはずの戸部君の背はいつのまにか私よりずっと高くなっている」という描写には、体の成長だけでなく、心の成長も表しているのだと思う。「ずっと」という言葉に注目すると、主人公が「夏美」と同じでなければならないという幼さがあった一方、一人で黙々とサッカーボールを磨く、「戸部君」との対比も読み取れるのではないかな。		

	○ 「戸部君」がいることによって作品にはどのような魅力があるのかを考える。	○ 本文の描写を根拠にした読み方。	○ 「魅力」で考えることが難しい場合は、「戸部君がいないと、この作品はどのようなものになるか」という視点から考えるように助言する。
4	○ クラスで発表を行う。 発表の手引き ①「戸部君」が登場することによる魅力を一言でまとめる。 ②そのように考えた理由を描写に注目して説明する。 ※描写に関連して、「私」の心情の変化についても触れるように気をつける。	○ 場面と場面・描写の結びつけ方	【主体的に学習に取り組む態度①】 <u>観察・ノート</u> ・ここでは、話し合ったことを基に発表したり聞いたりした内容について、考えを深めたり広げたりしているか確認する。 ○ 銀木犀の効果についても考えるとより作品を深く読むことができることを伝える。 ○ 同作者の作品も紹介しつつ、登場人物に注目して、読書を行うことを助言する。

7 本時の学習指導（本時4／4時）

(1) 目標

- 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。

〈学びに向かう力、人間性等〉

(2) 評価規準

- 粘り強く登場人物の描かれ方の効果を考え、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

(3)展開

学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
1 前時の学習を振り返り 本時の課題を確認する。		○前時の話し合った内容について確認させる。 ○発表が端的になるように方法や内容を精選するよう指導する。 【主体的に学習に取り組む態度①】 <u>観察・ノート</u> ・ここでは、話し合ったことを基に発表したり、聞いたりした内容について考えを深めたり広げたりしているか確認する。 〈「努力を要する」状況(C)の手立て〉 ・自分たちが話し合った内容と比較し、類似点や相違点を見つけるように指導する。 ・一言でまとめられた「魅力」だけを聞くのではなく、根拠となった描写や理由に着目するように指導する。
他のグループの発表を聞き、自分の考えを深めたり、広げたりしよう。		
2 発表の手引きを確認する。		
発表の手引き ①「戸部君」が登場することによる魅力を一言でまとめる。 ②そのように考えた理由を描写に注目して説明する。 ※描写に関連して、「私」の心情の変化についても触れるように気をつける		
3 グループごとに発表する。		
4 本時のまとめをする。		
登場人物の心情は、直接的に描写されている場合もあるが、登場人物同士の行動や会話から読み取れることもある。だからこそ、細かい描写にも着目して読むことが大切になってくる。		
5 学習の振り返りをする。		
期待される生徒の振り返り この作品では、「戸部君」がいることが、主人公の成長のきっかけとなっている。しかし、それだけではなく、幼いと思っていた「戸部君」が実は成長しており、「私」がまだまだ幼かったという対比の効果もあることを学ぶことができた。物語を読むときにはついつい主人公に注目して読むことが多いのだと思っていたが、実は同時に登場人物についても注目しているのではないかと思った。だから、スピンオフで他の登場人物を主人公にした作品もおもしろく感じるのではないかと感じた。今後、小説を読むときには、あえて登場人物に注目して読んでみると新たな読み方が見つけられるのではないかと思った。		
6 他の作品について知る。		○同作者の作品も紹介しつつ、登場人物に注目して、読書を行うことを助言する。